

## 第1回横浜市庁舎駐車場指定管理者選定評価委員会 議事録

【日時】 平成24年8月8日（水）10時～11時30分

【場所】 横浜市市民局区政支援部AB会議室

【参加者】 池田委員、井上委員、植松委員、中村委員、長谷川委員

### 【議事内容】

- 1 はじめに（資料1）
  - ※事務局より、（資料1）に基づき説明
  
- 2 事務局あいさつ
  - ※事務局より挨拶
  
- 3 委員紹介及び委員長選出（資料2）
  - ※事務局より委員紹介
  - ※委員長の選出
  
- 4 議題
  - (1) 会議の公開・非公開について
    - ※事務局より、（資料1）に基づき公開とする旨の説明
    - （委員長）今の事務局の説明について、意見があればお願いしたい。
    - （委員）本委員会については基本的に公開で問題ないが、指定管理者の事業計画書（提案書）についても公開対象となるのか。民間事業者の立場からは、こうした提案書に記載されているノウハウまで公開してしまうことに懸念がある。
    - （事務局）原則公開だが、事業者のノウハウに該当する場合は、公開対象とはしない。情報公開条例上は一部開示という取り扱いとなる。
    - （委員長）資料の公開可否や公開箇所については、事務局にて判断をお願いしたい。以上の前提に基づき、本委員会は公開とする。
  
  - (2) 指定管理業務の評価作業の進め方について（資料3）
    - ※事務局より、（資料3）の説明
    - （事務局）第2回の駐車場の現地調査の際に、指定管理者へのヒアリングは必要か。
    - （委員）他の事例ではどうなっているか。

- (事務局) 美術館等の他の事例では、現地視察を行う際に、指定管理者が施設を案内しながら質疑応答を受ける形をとっている形が多い。
- (委員長) では現地調査の際は指定管理者に同行いただき、質疑応答を受け付けることとする。その後、評価作業の中で疑義が生じた場合は、事務局を通して文書で質疑応答を行い、必要であれば別途場を設けて直接ヒアリングを行うこととしたい。

(3) 横浜市庁舎駐車場の指定管理に関する経緯等について

(資料4～6)

※事務局より、(資料4～6)の説明

- (委員) 評価項目について、選定時にこれ以上細かい項目はあったのか。地区センターの委員をやっているが、そこでは細かい項目ごとに分かれていたが、ここではどうなのか。
- (事務局) 地区センターよりも評価項目を絞った形で選定作業をしている。
- (委員) 評価項目は詳細に分かれていたのではないか。
- (委員) 評価シートが別途あり、さらに細かい項目に分かれていた。
- (事務局) 評価項目ごとにさらに細かい項目があり、点数の配点を行った上で評価を実施している。

(4) 評価項目及び基準について (資料7)

※事務局より、(資料7)の説明

- (事務局) この資料に加え、評価項目ごとに計画と実績を対比させた資料を作成しようと考えている。そのあたりも含めて審議いただきたい。

**(事業計画書と協定書の関係について)**

- (委員) 横浜市と指定管理者との間で協定を結んでいると思うが、要求水準を具体化したものが事業計画書という理解で良いか。
- (事務局) 時間的な順序としては、事業計画書に基づき、基本協定書、年度協定書を締結している。
- (委員) 事業計画書は応募書類そのものか。
- (事務局) その通りである。
- (委員) 事業計画書は応募書類そのものであるため、これがそのまま協定となっているものもあれば、個別協議の結果、協定となっていないものもあるかもしれない。なにを評価の基準とすればいいのか、もし提案内容と協定内容に変更があるのであれば、事業計画書と協定書をつなぐ資料をご用意いただきたい。

- (事務局) 基本協定書12条2項・3項に、協定書と事業計画書等の文書間の優先順位が記載されている。
- (委員) 事業計画書と協定書でイコールでない箇所があるのか。
- (事務局) 区と指定管理者の調整の結果、必ずしも事業計画書と協定書がイコールとなっているわけではないため、何らかの形で整理する必要がある。

#### (ABC評価について)

- (委員) 評価基準について、各項目においてどういう状態であれば、A・B・Cとなるのか、委員の間で意識を統一しておいた方が良いと思われる。評価項目ごとに発注側の市が求める状態・事例を記載していただきたい。
- (事務局) たたき台を事務局にて作成させていただく。
- (委員) 指定管理者の実績は市としてどのように確認しているのか。
- (事務局) 指定管理者に月次報告、年次報告を提出していただいているので、それに基づいて行っている。
- (委員) 市として実績を確認したことがわかる資料はあるのか。実績の事実はどうのように確認しているのか。
- (事務局) 料金収受に関しては、精算機のレシートのコピーと報告書を突き合わせることで、確認を行っている。
- (委員) 提案書通りに実施されていることについて、市ではどのように確認しているのか。市ではどのような書類を作成しているのか。
- (事務局) 各区役所の管理者が現場の確認を行っている。報告は口頭により行われているので、特に書類はない。料金収入など数字面については、月次報告、年次報告で確認することができるが、それ以外の業務に関わる部分については、こういった形で提示できるか検討させていただきたい。
- (委員) もし書類でなければ、各区役所が確認した事項をまとめていただき、ご用意していただきたい。
- (委員) 指定管理者が提案したことについて、実施されているか否かについては大事なことであるが、我々が直接確認することは難しいため、資料をご用意願いたい。

#### (評価の方針について)

- (委員) 今回は総合評価するものではなく、中間期としての個別指摘型という理解でよろしいか。
- (事務局) 今回は個別指摘型としていただき、指定管理者に改善を促すような評価・コメントをお願いしたい。

#### (収支の状況について)

- (委員) 最低保証額と分配額の計画値について、事業計画書と協定書に相違はあるか。
- (事務局) 相違はなく、年度協定書第8条に記載がある。
- (委員) 実際の分配額は計画通りであるのか。
- (事務局) 昨年度初めてBブロックで分配額があったという状況である。
- (委員) 区役所ごと収入で差はあるのか。
- (事務局) 機械式駐車場は想定通り収支が悪く、また市庁舎駐車場が思ったほど伸びていないという状況である。
- (委員) Aブロックは収支がよいと想定されていたが、実際はどうか。
- (事務局) Aブロックでは市庁舎駐車場と青葉区・都筑区の駐車場があり、収入を見込めると考えていた。しかしそのうち市庁舎については、指定管理者によると、利用者の無料時間内利用が多いことや、夜間・日曜の利用も思ったよりも伸びていないといった理由から、他の駐車場をカバーするほどの収入はあがっていない、とのことである。

#### (計画自体の評価について)

- (委員) 当初要求した水準が高すぎたのか、低すぎたのか、計画自体の評価については、どのように考えたらよいのか。
- (事務局) 駐車場の指定管理は全国初の事例であり、参考にする実績がなかったが、当初の要求水準については、指定管理者との約束であり、今回はこれをベースに評価することとしたい。
- (委員) 本委員会の中で、当初のハードルが高かったのか、低かったのかについては、議論していいのではないのか。
- (事務局) 計画と実績との対比については事務局にて整理するが、ハードルが高かったのか、低かったのかについては、まさに委員の方で議論していただきたい。
- (委員長) ハードルの妥当性を含めた議論については、第3回目の委員会で行いたい。

## 5 その他

### ・第2回及び第3回委員会の日程調整について

- (事務局) 第2回委員会は9月24日(月)の午後、第3回委員会は11月27日(火)10時からでお願いしたいが、如何か。
- (委員一同) 了解した。

- （事務局）第2回の視察先は現在調整中であるが、市庁舎駐車場と、機械式・平面式それぞれの視察を想定している。
- （事務局）視察後に区役所内会議室での会議を予定しているので、時間としては14時から17時半でお願いしたいが、如何か。
- （委員一同）了解した。

以上